



伊豆函南病院
055-974-0121
精神科・神経科・心療内科
精神科訪問診療・精神科訪問看護



2018年11月新棟OPEN
伊豆平和病院
055-974-1355
内科・神経内科・リハビリテーション科
皮膚科・訪問リハビリ



村上記念病院
0254-52-1229
内科・泌尿器科・リハビリテーション科
人工透析センター・訪問リハ・通所リハ



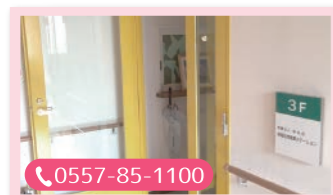
優つくり(1階)
0254-53-1111
看護小規模多機能型居宅介護
ラッシュレ(2,3階)
0254-53-1112
サービス付き高齢者向け住宅



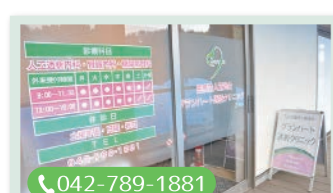
サニーブレイスかなみ
055-974-3811
相談支援事業所・就労支援事業所



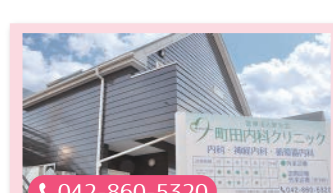
つながり
055-970-2938
高齢者グループホーム



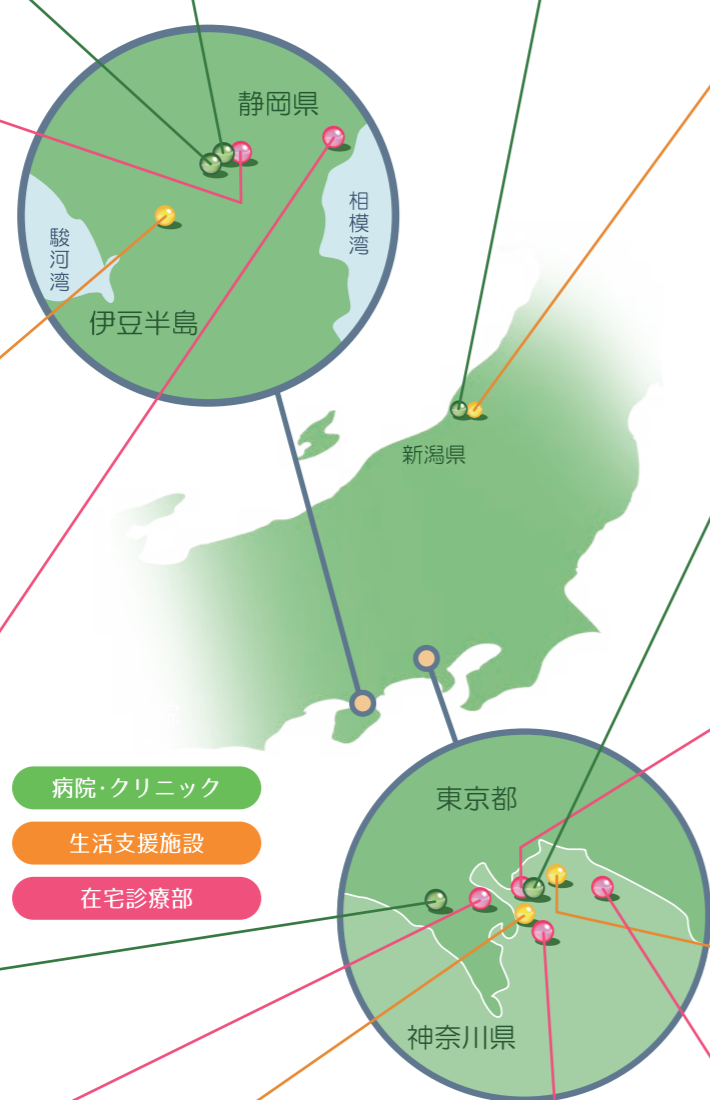
熱海訪問看護ステーション
0557-85-1100
訪問看護



グランハート透析クリニック
042-789-1881
人工透析内科・腎臓内科



町田内科クリニック
042-860-5320
内科/訪問診療 往診



- 病院・クリニック
- 生活支援施設
- 在宅診療部

生田病院 〒214-0037 神奈川県川崎市多摩区西生田 5-24-1
TEL:044-966-2151 FAX:044-955-4314

伊豆函南病院 〒419-0107 静岡県田方郡函南町平井 1694
TEL:055-974-0121 FAX:055-974-1503

村上記念病院 〒958-0034 新潟県村上市松山 204-1
TEL:0254-52-1229 FAX:0254-52-3556

伊豆平和病院 〒419-0107 静岡県田方郡函南町平井1690-13
TEL:055-974-1355 FAX:055-974-0026



伊豆平和病院
2018年11月1日に本館が新しくOPEN!!

TEL:055-974-1355
ホームページ: <http://izuheiwa-hp.jp/>

ごあいさつ 院長 小林 信仁

11月1日 伊豆平和病院は新しく生まれ変わりました。

この度、昭和53年に建てられた本館の建て替えの節目を迎えました。40年間の役目を終えた旧本館は気密性に乏しく耐震性もなく、雨漏りも日常的に見られましたが、長年この地域の医療を支えてきました。本当にお疲れ様でした。



透析センターの併設 新棟の最も特長的な点は「透析センター」の併設です。函南町を含め、沼津・三島・伊豆の国市には長期療養入院をしながら透析治療を受けられる病院がありません。この地域の中で透析療養を必要とする患者さんの受け皿となり、地域医療に貢献できるものと自負しております。

静岡県第一号の介護医療院 次に特徴的な点として、静岡県が許認可を下す県内第一号の「介護医療院」です。地域包括ケアシステムの中で行政とともにその役割を果たし周辺地域から注目されるものと思われます。行政と介護医療院の連携を構築し、「高齢者にとっても住みやすい地域作り」に貢献していきたいと思っております。

電子カルテの完全導入 更に特長的な事といたしまして、電子カルテの完全導入です。指示・伝達系が統一され誰もが分かりやすく確実に情報共有ができる、非常に価値の高いシステムが導入されました。仕事効率も今までとは比べ物にならないほど向上すると確信しております。更に、最新式CTからのPACS画像は鮮明であり、画像的にも診断的にも価値を上げてくれました。



このような大きな事業を、限られた時間の中、皆で取組み、そして素晴らしい形となって実現したことは、当院で日夜懸命に働いている職員一人一人の絶え間ない努力と、大きな夢に向かう強い志があったからこそ実現出来たことでもあります。私は病院長として当院の職員を誇りに思います。また、法人関係者各位の皆様、建築に携わる皆様にも多大なるご協力を頂き、心より感謝申し上げます。皆様のご期待に応えられるよう、伊豆平和病院一丸となって地域のために高い志を持って成長していきます。今後も、ご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



伊豆平和病院

Izu-Heiwa Hospital

新しくなった伊豆平和病院の特長をご紹介します

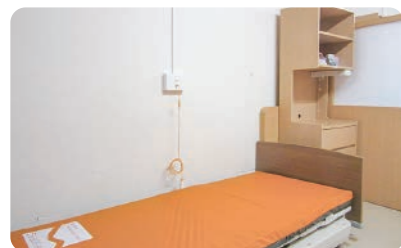
人工透析開始 改築した本館に透析センターを設置。

新棟は透析センターを備え、人工透析が必要で、さらに長期の入院加療を要する方の受け入れを行うことができます。近隣地域では該当する病院が不足しており、地域の皆様のニーズに応えるため新たな事業として進めてまいりました。

人工透析を受けている方にとっては、日々安心、安全に受けられることがとても重要です。職員一人一人が人工透析に関する知識や技術の取得、向上を常に意識し、質の高い医療を提供できるよう取り組んでいきます。



介護医療院開設 静岡県、第一号の介護医療院の開設。



当院には従来医療療養病床が120床、介護療養型病床が49床ありましたが、11月1日より、医療療養病床を109床とし、60床を介護医療院に転換いたしました。静岡県の認可としては、県下で第1号の介護医療院となります。

介護医療院は本年4月より新設された介護保険施設であり、従来の介護療養型病床に比べてより「住まい」としての役割が重視されております。プライベートな空間で療養生活が送れるよう、当院の病床も4人部屋ではありませんが間仕切り、カーテンによりそれぞれの病床が区切られております。

また、医療提供施設としての機能も備わっており、24時間医師、看護師、介護職員が常駐し、入所者様一人一人の状況に合わせた適切なケアを提供するよう努めております。



電子カルテ導入 本館・別館電子カルテ完全導入します。

当院では昨年より電子カルテの導入に向けて準備を行ってまいりましたが、11月5日より電子カルテを正式稼働いたしました。開始当初は混乱もありましたが、段々と職員も操作に慣れてきております。

電子カルテの導入を業務の円滑化、効率化につなげ、そこから得られた時間をより良い医療の提供ができるよう、職員一同努力してまいります。

Gallery

新しくなった本館の2階は落ち着いたブラウンで統一。3階は明るい木目調を基調としています。



2階 エントランス



2階 受付・会計



3階 食堂



3階 個室



生田病院

Ikuta Hospital

生田病院が川崎市のモデル病院になっています。

～精神科にも対応した地域包括ケアシステムの構築支援事業～

国の施策である「精神科にも対応した地域包括ケアシステム」の川崎市北部地域のモデル事業に生田病院が名乗りを挙げました。退院支援だけが目的ではなく地域包括ケアシステムを構築推進する為に相談支援事業所を始めとする地域支援スタッフとの緊密な連携及び交流を図ることも重要な目的としています。

またこの事業の一環として平成30年5月に退院支援プログラム「鯉のぼりの会」も発足し、密着アドバイザーをはじめ相談事業所スタッフやピアサポーター、院内スタッフ(PSW OT Ns)など多職種により運営しています。現在はモデル事業の対象者3名、その他退院を目指す10名程度が参加し「社会資源の見学」や「退院者との交流会」、「地域生活のイメージを作る」など退院に向け動機を高められるように試行錯誤で運営しています。

今後は本事業をきっかけに生田病院として地域の支援者と連携を密にし、支援のすそ野を広げていく一役割を担いたいと考えております。



現在までのプログラム内容

5月	将来のどのような生活してみたい？
6月	生活で困っていることをみんなで話してみよう！
8月	1日の生活スタイル「スケジュール表を作ってみよう！」
10月	地域生活支援センター「ゆりあす」紹介(ピアサポーター参加)
11月	地域生活支援センター「ゆりあす」昼食会



村上記念病院

Murakami Kinen Hospital

市民公開セミナーin村上・岩船に参加しました！

当院からは栄養科、臨床工学科のスタッフが発表しました。

10月14日(日)に開催された「市民公開セミナーin村上・岩船」に参加しました。このセミナーは、市民の皆さんに糖尿病・腎臓病の予防法や知識を広めることを目的として新潟大学、新潟県、村上市役所、村上地域の医療機関の協力を得て開催され、今回で8回目となります。今年のテーマは、「健診うけて健康長寿！」。健診の重要性や今日からできる減塩の工夫等、それぞれの専門職の講師の方々が講演されました。当院からは栄養科、臨床工学科のスタッフが発表しました。



栄養科

「Q&A日頃の疑問に答えます」コーナー
外食が多い食生活において、慢性腎臓病予防に有効な食事方法をご紹介します。

臨床工学科

寸劇「健診で安心！」
健診の大切さを、笑いを交えた寸劇でわかりやすく伝えました。

村上記念病院YouTubeにて動画公開中です。ぜひご覧ください。



後期方針について

平成30年度医療保険／介護保険の同時改定を受け、介護療養型病棟から介護医療院へ転換すべく、2019年4月から準備をすすめ、2020年4月オープンを目指して取り組んでまいります。転換準備による工事等で、ご迷惑をおかけする事もあるかと存じますが、ご了承くださいませようお願い申し上げます。今後も、地域医療に貢献できるよう、院長を中心として職員が一丸となって努めてまいりますので、今後の村上記念病院にご期待ください。

新人交流会を開催しました。

瀬波海岸までウォーキング&海岸の清掃

9月22日(土)、入職2年目の新人職員を対象に、事務部主催「新人交流会」を開催し、新人16名、事務職員8名、計24名が参加しました。昼食を交えた懇親会後、瀬波海岸までウォーキングし、海岸清掃を行いました。

この新人交流会を通して、部署や職種の違う職員同士、親睦が深まり、今後の仕事におけるモチベーションアップに繋がったようです。また、海岸清掃による地域貢献することができ、今後も継続して取り組んでまいります。



伊豆函南病院

Izu-Kannami Hospital

今年度から
来年度へ向けて

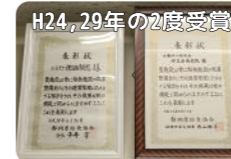
3階、4階病棟に個室を増やす事も視野に。

今年度は当院へ低床ベッド・超低床ベッドの導入を実現することができました。来年度は病棟の介護浴槽の改修を最優先とし、職員の労働の効率化・患者様への負担軽減を実現したいと考えております。また、3階病棟と4階病棟に個室を増やす事も視野に入れ、実現へ結びつけたいと思います。そのために当院職員が一丸となって精進してまいります。



超低床ベッド

優良給食施設表彰受賞からこれからの給食について



安全とおいしさをモットーに!!

平成29年7月に静岡県給食協会より栄えある優良給食施設表彰をいただきました。この表彰は、毎年食品衛生監視員の方の基準を長年満たし、静岡県給食協会沼津伊豆支部より表彰を受け、沼津伊豆支部から県への推薦を経て頂いた表彰状になります。平成6年の開設時から徹底した衛生管理、清潔保持を継続した賜物と思っております。当院において栄養科は診療部に属しており、食事も治療の一環として重要な分野を担っています。患者様の健康を支えるのは正に「食」そのものであり、日々の一食一食がとても大事であると考えます。今後も十分な栄養が摂れる給食、楽しみにしていただける給食をコンセプトに医師の指示のもと、栄養科一丸となって他職種との連携を図りながら創意工夫をもって患者様の健康維持増進に繋がる食事の提供をしていきたいと思っております。

topics

新しい事業所が誕生します！ くろみ相談支援事業所の開所と みのり居宅支援事業所の移転のお知らせ



12月1日より、当法人の生田病院にてくろみ相談支援事業所の開所とみのり居宅支援事業所の移転、開設予定となります。この事業所の開設にあたり、生田病院に長期入院している患者さんや近隣の病院に入院している患者さんに対しての退院支援を目的としています。高齢者の方、障がいを持たず、地域の方から色々な相談されるような、何でも相談的支援を行い、利用者の方々がその地域で暮らしたいというニーズを実現できるよう、医療関係者と連携を図ります。

生田病院 病診連携セミナー

「精神症状と東洋医学特に漢方処方の注意点」 第7弾

平成30年10月26日(金)19時より当院にて医療従事者向けの病診連携セミナー「精神症状と漢方」を開催しました。講師には明星漢方クリニック院長で東京女子医科大学大講師でもあります、西原辰一先生に「精神症状と東洋医学」特に漢方処方の注意点についてお話しいただきました。



漢方薬は、副作用がなく気軽に服用でき、かつ様々な不定愁訴にも有効的という印象がありますが、薬の薬効もしっかり把握しないうちで使用すると、意図しない方向に薬効が作用し、場合によっては症状を悪化させる原因にもなりかねません。例えば、熱がもつた症例に対し温める性質の漢方薬を用いれば、熱に油を注ぐことになりかねません。また、正しく体質診断が行われず、漢方薬を処方したとしても、薬の処方量が多すぎると、中庸の体質レベルを越え、反対側の体質に変化してしまつてもあります。その為、その人にとって適切な漢方薬の投与量を判断するにあたって、まずは1日の投薬回数を1、2回の少量投与から開始し、2〜3週間毎に体質チェックを行いながら漢方薬の1日投与回数を漸増させるが現状維持とするか、別の方剤に変更するかを判定調整する必要があります。漢方治療は、生薬や処方を生かした治療のみではありません。我々が日常生活において口にしている全ての食材にもそれぞれの薬効があります。食同源と言われる所以です。ひとつひとつ体例を挙げると、葛根湯加川きゅう辛夷と荊芥連翹湯はともに効能としては副鼻腔炎になっていますが、葛根湯加川きゅう辛夷は、生薬シヨウキョウ、シヨウガのことが入り、冷えて体質の方に有効ですが、荊芥連翹湯には薄荷ハッカが入っており、熱がこもりやすい方に有効です。

続きは次号ハートコースに掲載予定